

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2014 年 7 月 4 日

～住まいは子育てのために～

第 8 回キッズデザイン賞を受賞

- 多世代・地域交流型二世帯住宅「GENIUS GATE (ジニアス ゲート)」が受賞
- 「ミサワセキュリティデザイン」や「南極ウォークビュー」などを含め 5 点が受賞
- 第 1 回 から 8 年 連続 での 受賞、通算 受賞 点数 が 28 点 に

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）は、第 8 回キッズデザイン賞（主催 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会／後援 経済産業省）において、家族や地域とのつながりを育む木質系戸建住宅「GENIUS GATE (ジニアス ゲート)」をはじめ、住宅の防犯性と快適性を両立する方法を提案した Web サイト「ミサワセキュリティデザイン」、家庭内における子どもの“お手伝い”について調査・分析した「子どもの行動特性調査<お手伝い>」、地域とのつながりを重視した認可保育園「コビープリスクールせきまち※」、南極の臨場感が味わえる教育支援ツール「南極ウォークビュー※」の計 5 点を受賞しました。

※ミサワホームと外部機関や他企業との共同受賞です。

キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインのミッションを実現し、普及するための顕彰制度です。子ども向けの製品・サービスに限らず、子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などにも与えられます。

ミサワホームは創立当時より「住まいは子育てのために」という信念のもとに商品を開発し、子育てにおいて“家にできること”を真摯に考え、住まいづくりに取り組んでいます。

今回の 8 年連続でのキッズデザイン賞受賞を契機に、今後も子育てと住まいのあり方についての研究開発に努めます。

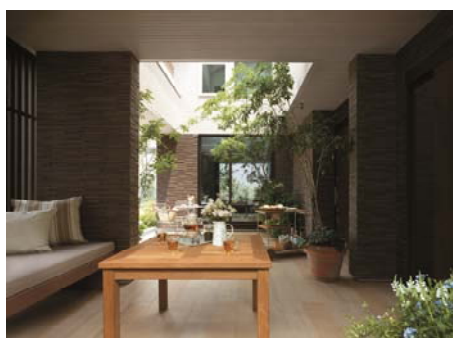


KIDS
DESIGN
AWARD
2014

■「GENIUS GATE」（子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門）

「GENIUS GATE」は、メインコンセプトを「住み開く家」とし、家の内と外とをつなげて日常的に地域に開き、親世帯・子世帯と近隣の人同士がつながり見守り合う暮らしを提案した多世代・地域交流型二世帯住宅です。

玄関ポーチを兼ねた中庭の「コミュニケーションポーチ」は、近隣の方々が気軽に立ち寄れるオープンスペースで、子ども達の遊び場や集団登校の待ち合わせ場所としても活用できるなど、日常的にコミュニケーションを図れる場として提案しています。また、コミュニケーションポーチに連続した1階の親世帯の「コモンズリビング」には、外を眺めながら趣味や読書に打ち込める「ウインドウギャラリー」を設けており、外で遊ぶ子どもたちや家の周りの様子をさりげなく見守ることもできます。さらに、玄関ポーチを両世帯で共有し、上部に吹き抜け空間の「アウトヴォイド」を設けることで、毎日の出入りを通じてお互いの世帯が程よくつながり、交流と安心感を生み出す工夫もしています。世代や地域など、家族の枠を超えてつながり合うことで、子どものコミュニケーション力や社会性が育まれます。



【GENIUS GATE（ジニアス ゲート）】

【コミュニケーションポーチ】

■「ミサワセキュリティデザイン」（子ども視点の安全安心デザイン 一般部門）

ミサワホームがこれまで培ってきた住まいの防犯対策のノウハウに、健康や省エネ、デザイン性、プライバシーの確保などの様々な工夫を盛り込み、防犯性と快適性を両立する方法を提案するWebサイト「ミサワセキュリティデザイン」を開設しました。

当サイトでは、「対策箇所」「プラス効果」「防犯の基本」「対策の対象」などのカテゴリから防犯に有効なアイテムや設計の工夫などが検索できる「セキュリティデザイン100」、ゲーム感覚で防犯対策を学べる子ども向けの防犯教育のためのシミュレーション「ドロボウ君が狙っている！」など、安全・安心な住まいづくりに役立つ豊富なコンテンツを用意しています。子ども自らの防犯意識を高めるとともに、家族全員が快適で心地よく暮らせる住まいづくりを提案しています。



【Web サイトトップ画面】



【ドロボウ君が狙っている！】

【専用サイト】 <http://bouhan.misawa.co.jp/>

■「子どもの行動特性調査<お手伝い>」(子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門)

ミサワホームは、親の真似や好奇心などから起こる子ども特有の行動のうち、子どもの「お手伝い」がもたらす能力発達との関わり、さらに、家庭内事故との関連性について、調査・分析を実施しました。お手伝いには4つの発達段階があり、各段階に適したお手伝いをさせることで、楽しみながら学ぶことができ、達成感も味わうことができると分析しました。また、調査を通して、親が忙しくて時間に余裕が無いことや子どもの怪我が心配なことなどの理由から、あえてお手伝いをさせない家庭も多数存在することが分かりました。子どもの身体寸法と住宅設備機器との関係を把握することや子どもにとってお手伝いしやすい住まいの工夫を取り入れることが、子どもの発達において重要であり、家庭内事故防止にもつながると提案しています。これらの調査結果や分析内容は、専用サイトで公開し、お手伝いは家族の大切なコミュニケーションの一つであり、思いやりや責任感、社会性を育むためにも効果的であることを紹介しています。



【住宅環境内子どもシミュレーション図】

【お手伝いがしやすい両側収納キッチン】

【専用サイト】 <http://www.misawa.co.jp/kosodate/report/index.html>

■「コビープリスクールせきまち」(子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門)

「コビープリスクールせきまち」(東京都練馬区)は、社会福祉法人コビーソシオ(本部 東京都目黒区/理事長 小林照男)が運営する私立認可保育園で、今年4月に開園しました。練馬区としては初となる定期借地権を活用して国から借り受けた国有地に建設した保育施設です。ミサワホームが園舎の設計を担当しました。

開放的なアプローチやエントランスホール、外からも見通しの良い園庭に続く柱廊など、地域とのつながりを意識した園舎は、低層で落ち着いた色調の外観とすることで周囲の風景に溶け込み、地域との調和にも配慮したデザインとしています。また、園児の視線の高さに合わせた多数の小窓を設けることで屋外への興味を喚起し、柱廊には季節を感じる植栽を用意して自然への関心を育むなど、園児の好奇心を刺激する仕掛けも豊富に盛り込みました。また、園舎の中心に大きな吹き抜け空間を設けることで、階の違う異年齢児同士のコミュニケーションを促進するほか、引戸型の可動間仕切りの採用によりシーンに合わせた多様な空間利用ができるなど、保育空間全体に一体感をもたらす工夫も取り入れています。

※ ミサワホーム、コビーソシオ、株式会社ブラットデザインの共同受賞



【コビープリスクールせきまち】

【大きな吹き抜け空間】

■「南極ウォークビュー」(子どもの未来デザイン 学び・理解力部門)

ミサワホームは、全国の学校生活協同組合や教育関連団体と連携し、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所の協力を得て、日本南極地域観測隊に参加したミサワホームグループの社員らが講師となり、教育支援プログラムとして、小学校や中学校を中心に授業を行う「南極クラス」を全国で開催しています。「南極クラス」では、現地での活動や生活を紹介し、子どもたちの好奇心や探究心を掻き立て、将来の夢や希望を持つきっかけづくりをしています。さらに、この活動を病気で入院している子どもたちにも届けたいという思いから、少人数のケースでも開催できるように、また、昭和基地にいるような感覚を味あわせてあげられるように、新たな教育支援ツールとして「南極ウォークビュー」を開発しました。

「南極ウォークビュー」は、南極の臨場感も味わえる iPad アプリです。「地理」「歴史」「生活」「生物」「気象」「宇宙」の6つのテーマで構成し、日本南極地域観測隊員が南極で撮影してきた本物の映像を見ながら楽しく学ぶことができます。iPad のジャイロを活用することで、身体の動きに連動して映像が上下左右に動くため、実際にその場に立って周囲の風景を見渡すような感覚を味わえるのも特長の一つです。例えば、「地理」においては、昭和基地の壮大な風景をバーチャルで体感できると共に、南極を中心にして、日本や世界遺産のナスカの地上絵などの位置関係を、ダイナミックに地球規模で理解することができます。さらに、映像で見た約2万年前の南極氷や越冬服が、実際に目の前に現れ、触れられる本物の体験も盛り込むことで、南極への興味や理解がより深まる内容で授業を構成しています。

※ ミサワホーム、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所、株式会社パラカロ、学校法人昭和大学、一般財団法人 WNI 気象文化創造センターの共同受賞



【南極ウォークビューイメージ図】



【昭和基地の実際の風景と道しるべ】

＊この件に関するお問い合わせ先＊

ミサワホーム(株) 経営企画部 広報・IR課 武田路和 平賀理絵子

TEL : 03-3349-8088 FAX : 03-5381-7838

E-Mail : Rieko_Hiraga@home.misawa.co.jp